

## 平成26年度事業報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図ってきました。

平成24年4月からは、愛知県から公益認定を受け、公益財団法人として新たな一歩を踏み出すこととなりました。

こうした中、平成26年度は、引き続き、国際理解を深めるための交流事業や各種講座、在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等、多文化共生社会づくりのための事業を実施しました。

協会最大のイベントであるワールドフェスティバル2014は、内容の充実を図り、例年以上の参加者となりました。

今後も、ボランティアや関係団体の方々との連携を密にし、公益性を活かしながら時代に即した事業を展開して、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。

### 公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

#### (1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

##### ①オイスカ（O I S C A）中部日本研修センター青年研修生との交流会

日時 平成26年5月20日（火） 午後6時から

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 41人（このうちオイスカ研修生8人、指導員1人）

内容 日本の農業技術を習得するためにオイスカ中部日本研修センターに滞在している開発途上国の青年研修生と指導員を招き、ひまわり農業協同組合の協力を得て、カントリーエレベーターやトマト集出荷場を始め市内の農業施設を見学したのち、本協会の会員との交流会を行い、相互の友好と親善を図りました。

##### ②七夕交流会

日時 平成26年6月28日（土） 午後2時から

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 77人（このうち外国人20人、子ども24人）  
内 容 この地域に住む外国籍の子どもたちと一緒に、日本の伝統行事「七夕」にふれながら、交流を図りました。七夕飾りづくり、ゆかたの試着、流しそうめんなどを行いました。

### ③お月見交流会

日 時 平成26年9月15日（月） 午後6時30分から  
場 所 市勤労福祉会館前 玄関スペース  
参加者 150人（このうち外国人20人、子ども39人）  
内 容 この地域に住む外国人市民等を対象に、日本の伝統行事「お月見」にふれながら、交流を図りました。月明かりの中、キャンドルづくり、ジャズ演奏、絵本の朗読、国旗クイズなどを行いました。

### ④ワールドフェスティバル2014

日 時 平成26年11月2日（日） 午後0時40分から  
場 所 市勤労福祉会館 大研修ホールほか  
参加者 500人超  
内 容 この地域に住む外国人市民と日本人市民とが、音楽や踊りなどを通して、相互の親睦と国際理解を深めました。「世界の演芸大会」、「豊川の国際交流パネル展」「世界の民族衣装試着」「世界のおやつ」などを行いました。

### ⑤折り紙交流会

日 時 平成27年1月18日（日） 午後2時から  
場 所 ウィズ豊川  
参加者 46人（このうち外国人とその家族29人）  
内 容 日本語教室で勉強している生徒、その友人・家族、先生を対象に、色紙での箱づくり、抹茶を飲むときの作法の紹介を通して、交流を図りました。

### ⑥節分交流会

日 時 平成27年2月1日（日） 午後1時30分から  
場 所 桜ヶ丘ミュージアム さつき・黒松  
参加者 86人（このうち幼児3人を含む外国人12人）  
内 容 この地域に住む日本人や外国人に日本の文化の一つである節分のお話や、紙芝居、歌、三味線・オカリナ演奏により紹介するとともに、諏訪地区のイメージキャラクター「すわポン」といっしょに豆まきなどをして、相互の交流と国際理解を深めました。

⑦ホームステイによる外国人研修生との交流

- ・期 日 平成26年5月16日（金）から5月18日（日）まで  
受入れ人数 マレーシア大学生24人と引率者1人  
受入れ家族 14家族  
内 容 日本国際協力センター（JICE）が実施した青少年交流事業「JENESYS2.0」で来日したマレーシア大学生のホームステイを受け入れました。
  
- ・期 日 平成26年12月5日（金）から12月7日（日）まで  
受入れ人数 フィリピン大学生28人と引率者2人  
受入れ家族 14家族  
内 容 日本国際協力センター（JICE）が実施した青少年交流事業「JENESYS2.0」で来日したフィリピン大学生のホームステイを受け入れました。
  
- ・期 日 平成27年1月16日（金）から1月18日（日）まで  
受入れ人数 タイ高校生4人  
受入れ家族 2家族  
内 容 日本国際協力センター（JICE）が実施した青少年交流事業「JENESYS2.0」で来日したタイ高校生のホームステイを受け入れました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるために、ゲームや野外活動を通して多国籍の外国人との交流を行い、相互理解を図りました。

①キッズワールドサマースクール

- 日 時 平成26年7月20日（日） 午前8時30分から
- 場 所 鳳来寺山、旧鳳来寺高校、旧門谷小学校（新城市）
- 対象者 小学校4、5、6年生
- 参加者 50人（このうち小学生24人、外国人8人、スタッフ18人）
- 内 容 子どもたちの国際化への関心を深めるため、鳳来寺山へのハイキングやゲーム、すいか割りなどを通して外国人ゲストとの交流を図りました。

②マレーシア児童・生徒受け入れ事業

- 期 日 平成27年2月9日（月）
- 場 所 市勤労福祉会館 第3会議室
- 参加者 7人（パマジャ2人）

内 容 マレーシアのパマジャ代表者から交流についてのプレゼンテーションを受け、今後の交流のあり方を検討しました。

## 公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

### (1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、ボランティア活動の紹介を行いました。また、地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動の活性化に向けて支援しました。

#### ①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

#### ②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会

毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

開催回数 12回

#### ③市民まつり「おいでん祭」への参加

期 日 平成26年5月24日（土）～25日（日）

場 所 市野球場

内 容 協会事業や各部会の活動をパネルでの紹介、賛助会員やボランティア募集チラシ等の配布、南アメリカの伝統料理や飲み物の販売、民族衣装の展示・試着、南アメリカの伝統的な踊り（ステージ）音楽演奏（ブース）などを行いました。

### (2) 国際理解講座の開催

人権、環境、多文化共生、平和など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会、演奏会を行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

#### ①国際理解講演会の開催

ア 日 時 平成26年6月22日（日） 午後2時から

場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリアオ視聴覚室

講 師 大須賀関雄ケネスさん

参加者 60人  
内 容 「科学が何の役に立つのか?～日本人・日本の国際化について考える Part1」と題する講演会を開催して、日本人や日本が今後、国際社会を生きていくために、科学的な見解の必要性について、理解を深めました。

イ 日 時 平成26年12月7日(日) 午後2時から  
場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ視聴覚室  
講 師 大須賀関雄ケネスさん  
参加者 59人  
内 容 「オペラ椿姫のお菓子と音楽～日本人・日本の国際化について考える Part2」と題する講演会を開催して、日本人が国際社会を生きていくために、心を以て物事を見、対処していく必要性について、理解を深めました。

#### ②世界の料理教室の開催

世界の食文化を理解するため、これまで様々な国の料理の作り方を学んでいます。今年は台湾の家庭料理の作り方を学び、その国の食文化に接しながら国際理解を深めました。

日 時 平成26年6月29日(日) 午前10時から午後1時  
場 所 市勤労福祉会館 調理実習室  
講 師 莊 琇 晶 (ソウ ショウ チン) さん  
参加者 37人  
内 容 肉団子のスープ、ゆでぶた、麻婆豆腐などを作りました。

#### ③「第6回チェコの夕べ」の開催

愛・地球博で旧音羽町のフレンドシップ国であったチェコ共和国出身の音楽家などによる演奏会を開催することで、チェコ共和国についての理解を深め、音楽を通じた交流をすることができました。

日 時 平成26年7月25日(金) 午後6時30分開演  
場 所 市音羽文化ホール  
出 演 ダニエル・フォルローさん(チェコ共和国出身、ピアノ)、大須賀  
関雄ケネスさん(カナダ国籍、理学博士、オペラ演出家・歌手)  
入場者 279人

#### ④文化講座の開催

「どんな国シリーズ」として、2回開催し、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「ネパールってどんな国」

日 時 平成26年9月27日(土) 午後2時から  
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室  
講 師 ラクパ シェルパさん  
参加者 74人 (このうち講師・出演者9人)  
内 容 ネパールでのガイドの体験談やネパールの文化、生活習慣の紹介を行いました。

イ 「フランスってどんな国」

日 時 平成27年2月21日(土) 午後1時30分から  
場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ視聴覚室  
講 師 久保田アナイスさん  
参加者 56人 (このうち講師・出演者2人)  
内 容 フランス南西部の街ビアリッツ出身の講師によるフランスの文化や習慣の紹介を行いました。

⑤日本語ボランティア フォローアップ研修の開催

プレイスメントテストや日本語を教えるときのポイントやコツなどについての研修を行いました。

期 日 平成26年8月16日(土)・30日(土)  
場 所 市勤労福祉会館 研修室  
講 師 本多 章義さん(豊川市こぎつね教室コーディネーター)  
受講者 26人(会員24人・一般2人)

⑥日本語ボランティア養成講座の開催

「外国の方に日本語を教える」とは何をするのか?また、「日本語ボランティアの役割」と「教室活動の作り方」について、グループで話し合い、発表することで、今後の日本語教室での活動に生かすべき点を学びました。

期 日 平成27年2月15日(日)、3月8日(日)  
場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ視聴覚室  
講 師 米勢 治子さん(愛知県立大学講師、東海日本語ネットワーク副代表)  
受講者 44人(会員28人・一般16人)

(3) 姉妹都市等の交流

海外へ青少年を派遣し、異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材の育成を図りました。

また、姉妹都市・友好都市との交流を支援しました。

#### ①高校生海外派遣事業

豊橋市国際交流協会との広域国際交流事業により豊橋市の姉妹都市であるアメリカ合衆国トリード市のトリード大学を会場にして毎年、夏季に開催される「トリード インターナショナル ユースアカデミー」に市内在住の高校生を派遣し、英語での講義を受けたほか、各国青少年の文化交流への参加や、ホームステイ先での生活体験を通じ、次代を担う青少年の国際的視野を広め、世界の同世代の若者たちとの友好と親善を深めました。

期 日 平成26年7月19日(土)～8月4日(月)(17日間)

訪問先 アメリカ合衆国オハイオ州トリード市

参加者 本市在住高校生4人(そのほか豊橋市在住の高校生6人と引率教諭1人)

#### ②姉妹都市・友好都市との交流の支援

豊川市が実施する姉妹都市アメリカ合衆国キュパティーノ市中学生使節団歓迎会での支援を行いました。

期 日 平成26年6月27日(金)

参加者 11人

#### (4) 外国語講座

語学学習及び外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。英会話6講座、フランス語1講座、中国語2講座、スペイン語1講座を実施しました。

##### ①英会話講座

###### ア 基礎英会話

平成26年5月12日～8月18日(受講者13人)

###### イ やさしい英会話

平成26年5月13日～7月29日(受講者23人)

###### ウ 英会話初級A

平成26年9月2日～11月25日(受講者12人)

###### エ 英会話初級B

平成26年9月4日～11月20日(受講者24人)

###### オ 英語で楽しいディスカッション

平成26年12月2日～3月10日(受講者25人)

###### カ 英語ボランティアガイド入門

平成26年12月2日～3月17日(受講者17人)

##### ②フランス語講座

- ・ 美味しく楽しくフランス語

平成26年5月16日～7月25日(受講者16人)

### ③中国語講座

#### ア 使える中国語 1

平成26年8月21日～11月27日（受講者20人）

#### イ 使える中国語 2

平成26年12月4日～3月26日（受講者22人）

### ④スペイン語講座

#### ・ 楽しくスペイン語

平成26年12月3日～3月18日（受講者13人）

## 公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

### (1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

#### ①日本語教室の開催

##### ・ 夜クラス

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

日 時 4月～3月の毎週土曜日 午後7時45分から午後9時まで（午後6時から7時30分まで補習あり）

場 所 市勤労福祉会館・ウィズ豊川・プリオビル

受講者 延べ206人（36期（3月から7月）94人、37期（9月から2月）112人）

講 師 協会の部会員

内 容 入門から上級まで、20クラスに編成して、1期5か月（概ね20回）で修了し、年2回開講しました。

##### ・ ひるまクラス

日本語を勉強したい人が多くの受講機会が得られるよう、前年度から引続いて午前中の教室を開講しました。

時 期 4月～3月の火曜日から木曜日 午前10時30分から12時まで

場 所 プリオビル

受講者 延べ21人（4期（3月から7月）9人、5期（9月から2



月) 12人)

講 師 協会のボランティア

内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期5  
か月(概ね20回)で修了し、年2回開講しました。

## ②ひらがなしんぶん発行事業

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがな」で、日本の風俗習慣などを中心に、生活に関わる情報を提供し、日本人との円滑な交流ができるようにすることを目的として毎月1回発行し、保育園、幼稚園、小・中学校、市図書館を通して配布しました。

発行回数 12回(毎月1回)

発行部数 830部/回

## ③豊川市日本語スピーチコンテスト(第5回)

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日 時 平成26年11月2日(日) 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

出場者 11人

・小、中学生の部 2人

・高校生以上一般の部 9人

なお、小、中学生の部から2人、高校生以上一般の部から3人が、東三河日本語スピーチコンテスト(平成27年1月25日(日)田原文化会館で開催)へ出場しました。

## (2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるように母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを実施して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

### ①小学生クラス

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後2時から午後5時まで

場 所 主に市社会福祉会館(ウィズ豊川)

講 師 専門講師及び協会ボランティア

登録者 40人

内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

### ②中・高生学習支援クラス

日 時 4月～3月の毎週水～土曜日 午後6時から午後9時

まで、年間163回開講  
場 所 ボランティア市民活動センタープリオ（プリオ4階）  
講 師 協会のボランティア  
登録者 5人  
内 容 高校入学や在学のための学習指導を行いました。

### ③アトリエ

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日の午後6時から午後9時まで、  
年間38回開催  
場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）  
参加者 15人（小・中学生）  
講 師 協会部会のボランティア  
内 容 ラテンアメリカの民族舞踊を教えることで、子どもたちに母国の文化の伝承と意識づけを図りました。

### (3) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

#### ①スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

・相談件数 184件

### (4) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

#### ①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、英語、中国語、スペイン語の通訳、翻訳などを行いました。

## 公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

### (1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

#### ①機関誌「We」の発行

発行回数 年4回（5月、8月、11月、2月）  
発行部数 1,400部/回

(2) 広報とよかわ「インフォーマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供しました。

①「インフォーマ」の翻訳

発行回数 年12回  
発行部数 1,800部/回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

①ホームページでの情報提供

通年で、ホームページを活用して、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

## 附属明細書

平成26年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

